

# Ask what you can do !

## ～自分に何かできるか考えてみよう～

今週の児童朝会で、みんなに『石ころ Thank you バケツ』の話をしました。大きな石ころが校庭に落ちていたので危ないなと思ってバケツを作り、『気づいた人が気づいた時に拾って欲しい』と呼びかけました。石ころを踏んで転んで痛い思いをするかもしれない誰かのために。みんなが安全に過ごせる学校をみんなで作っていくために。——そうしたらなんと！その日のうちに



大きな石ころがたくさんバケツの中に入っていたのです。みんなも考えてくれたのでしょうか。自分にできること。バケツにたくさん入っている石ころを見て、最高に嬉しくなりました。

“Ask not what your country can do for you, ask what you can do for your country.” 『国があなたのために何をしてくれるかではなく、あなた自身が国のためにできることは何かを問うて欲しい』——ネット検索すると、わずか 0.7 秒で 7 億 3400 万ヒットするくらい有名なことば。これはアメリカ第 35 代大統領ジョン・F・ケネディのあまりにも有名な就任演説で、半世紀以上たった今なお語り継がれ、輝きを増す名言です。みんなが拾ってくれた石ころがいっぱいつまったバケツを見てふと思いついたというわけです。太子橋っ子ひとりひとりが自分にできることは何かを考え、行動に移した石ころいっぱいバケツは、まさにそのスピリットの表れであり、みんなの心や行動がいっぱい詰まったバケツだものね。そんな心意気は人の心の成長を加速させます。そして、そんな行動の一つひとつが学校全体の力となり、気風となり、やがて太子橋の伝統にもなって未来につながっていくのでしょうか。半世紀が過ぎてもなお残る JFK の名言は、時代が移り変わっても決して色褪せないスピリットですが、今を生きる小学生のみんなにもしっかりとできています。おかげで前よりも石ころが少なくて、前よりも安全度が増した校庭になりました。これが続くとこれからもっと安全な学校になっていくでしょう。今年、太子橋小学校は創立 70 周年を迎えます。ひとりひとりが”Ask what you can do for your school”を合言葉に、もっともっと素敵な学校をみんなで作っていきましょう。

2018 年 5 月 31 日

大阪市立太子橋小学校長 数藤 知子